

全自無連第62回通常総会

東京・都市センターホテルで開催

～ 4年度事業方針、役員改選など ～



全国の皆様、長引くコロナ禍での経営大変なご労苦と拝察いたします。

まん延防止等重点措置などが解除されながらも新型コロナウイルス感染拡大がやまぬ中、新年度を迎えました。全自無連第62回通常総会は、昨年引き続き東京開催とし、感染拡大状況などを注視しながら6月14日(火)、10正会員による通常総会と定数43名の理事会を招集します。

引き続き懇親会等の併設企画が難しい状況にありますが、久しぶりに全国の皆様にご参加いただける総会・理事会をめざして、準備を進めていますので、ご参集方、よろしくお願いいたします。

タクシー業界は、移動需要が激減し、苦しい経営と将来不安を抱え、無線配車業務のデジタル変革がしきりに行われています。それらに合わせて、会員数が減少し、無線配車を含むタクシー経営の持続維持と今後の全自無連の活動見直しが求められる重要な総会です。全国の皆様とお会いし、重要な話を対面でできるよう願っています。

今通常総会は、昨年度事業報告・決算等報告と令和4年度事業計画・予算案の審議に加え、全役員の改選が予定されています。各無線協会の代表理事、役員の皆様には、感染対策、交通利用の不便をおかけしますが、是非、ご出席をいただきますよう、お願い申し上げます。

全自無連第62回通常総会

会場	東京・都市センターホテル(東京都千代田区平河町2-4-1) (感染対策を施して実施する。宿泊希望は同ホテルを斡旋)
出席者	全自無連正会員及び理事、監事他
来賓	調整中(感染回復状況により案内)
懇親会	計画無(感染回復状況により会費制ミニ懇親会検討)

〔全自無連第 62 回通常総会の課題〕

変わる無線配車とタクシー事業の持続維持

新型コロナウイルス感染拡大がもたらしたニューノーマル社会は、テレワーク就業や電子決済など、対面や移動を伴わないビジネスや生活のデジタル変革を定着させ、デジタル変革とコロナ禍は、無線配車スタイルを大きく変えました。なおも厳しい経営事情の下、人によるタクシー配車対応を無くし、電話受注やオペレータによる配車業務を自動化するデジタル変革が都市、地方を問わず全国に浸透しています。

こうした中、全自無連第 62 回通常総会は、来たる 6 月 14 日（火）、昨年につき、東京・都市センターホテルで開催とさせていただきます。今後、変異株による新型コロナウイルス感染拡大が終息に向かうことを願いながら、以下のとおり、開催に向けて準備を進めております。

第 62 回通常総会開催計画



＜都市センターホテル＞



〔日時・場所〕

令和 4 年 6 月 14 日（火）14:00～16:30

都市センターホテル（千代田区平河町 2-4-1）

〔議事次第〕

1. 会長挨拶
2. 議 題
 - (1) 令和 3 年度事業報告
 - (2) 令和 3 年度決算報告及び監査報告
 - (3) 令和 4 年度事業計画
 - (4) 令和 4 年度収支予算
 - (5) 役員の変更
 - (6) 次期通常総会開催地の決定

〔令和 4 年度第 2 回理事会〕

令和 4 年 6 月 14 日（火）15:45～16:00

議 題 会長、副会長、専務理事の選定

〔その他〕 表彰及び感謝状の授与

全自無連第 62 回通常総会に向けて各無線協会総会を配置			
協 会	月 日	協 会	月 日
関 東	5 月 1 2 日（木）	九 州	6 月 2 日（木）
信 越	5 月 1 9 日（木）	東 北	6 月 3 日（金）
近 畿	5 月 2 4 日（火）	中 国	6 月 7 日（火）
北 海 道	5 月 2 6 日（木）	北 陸	6 月 9 日（木）
東 海	6 月 2 日（木）	四 国	6 月 2 1 日（火）

令和4年度事業計画案の概要

全自無連は、4月13日、東京・自動車会館大会議室において、正副会長会議を開催し、コロナ禍における会員と組織の現状等を話し合い、令和4年度の事業計画案、予算案を確認して、理事会（書面開催）に提案しました。

利用者によって直接空車マッチングするアプリ配車は、電話受注の減少と無線配車業務のアウトソーシング化を急速に進め、オペレータによる無線配車から、アプリ配車だけとする事業者も増えています。

タクシー事業の経営持続だけでなく公共交通としての地域供給とその確保が懸念されますが、今後、経済再生と必要な移動支援、思いやりのあるタクシーサービスの確保などタクシー事業に対する地域の期待と信頼が求められています。

厳しい経営環境下においては、効果的な配車ときめ細かな移動支援が必要です。そのため、配車業務の自動化やタクシーサービス向上のため、経済的なタクシー事業の持続経営とデジタル変革への対応が重要です。

令和4年度は、そうした今後の無線配車と全自無連の活動のあり方の検討を含め、以下の5つの重点活動課題を掲げ、情報通信技術活用を図り、タクシー事業の持続と社会貢献の実践など、すべての会員の組織強化と会員支援を重視した活動に取り組んでまいります。



<4月13日 正副会長会議>

令和4年度事業計画の重点課題

1 無線によるタクシー事業展開と社会貢献の実践

無線をはじめ情報通信技術が配車業務のスマート化を促進し、膨大なデジタル投資を伴ってタクシー事業の効率化と事業継続が行われています。

これまでの競争的な需要確保のための無線配車を見直し、今後は、より効果的な無線配車と経営維持に立った経済的な無線配車としなければなりません。

私たちは、あらゆる利用者層のタクシー需要に対応した効果的で経済的な無線配車に対応しながら、タクシー需要の適切な確保とサービス改善、安全安心・社会信頼に応えるタクシーサービスの向上をめざします。また、タクシーは、災害対策や高齢者・移動弱者への移動支援を行います。今後、無線配車の改善と新たな無線システムの開発誘導を図りながら、タクシー事業の持続と将来ビジョンを示す活動を進めます。

2 配車受注のスマート化に伴う無線配車の強化

社会のネットワーク化の動きを受けて、今後、タクシー需要には、インバウンド開放や観光復活などの期待がありますが、需要増加は見込めず、タクシーの移動需

要は、既に電話受注から MaaS や配車アプリなどネットによる利用者からの直接配車受注に移っています。そのため、オペレータによる無線配車業務が著しく減少し、電話受注の常時対応も難しくなっています。

しかし、タクシー需要が減少する中では、利用者による直接配車対応のほかに、電話受注による効果的な配車供給や閑散時間帯での適切な無線配車が必要です。地域公共交通として、事業者側からの効果的かつ経済的な配車供給の対応が求められていると言えます。今後は、アプリ配車と事業管制された無線配車の 2 つを併用した、経済的な経営維持に立った効果的な無線配車が重要です。

3 無線配車に関する調査研究等の推進

タクシーは、地域公共交通として、観光やビジネスを行う活動層のほかに、移動支援を求めるすべての人たちへの地域供給の公共的役割があります。配車アプリによる直接配車と利用ニーズの変化に応え、地域のすべての利用者に向けての経営経済的なデジタル共同無線や地域共同供給が求められています。



＜名古屋で開かれた調査検討会＞

全自無連は、令和元年度から、タクシーの地域共同配車にも対応する業務用デジタル無線の調査研究に着手しました。令和 4 年度は、その社会実証試験の実施と制度化に向けた調査研究を進めます。この IoT 無線は、基地局等の通信インフラの地域共同利用により、その構築・運用費用を軽減させ、かつ、車両に搭載する端末の低廉化を図ることにより、地方のタクシー需要に対応した経済的なデジタル無線です。総務省の指導を受け、会員からの要望とタクシー無線の将来ビジョンを見据えた無線活用の調査研究を進めます。

4 情報提供及び知識の普及

タクシー事業をめぐる電波情報通信技術の利活用によるデジタル変革は、タクシー事業の経営改善に深くかかわっています。こうしたデジタル変革の動きを的確に把握し、会員に提供します。また、無線配車をはじめとするデジタル変革の要望意見を把握し、関係法令と政策動向の収集、会員への情報提供を行います。

また、新たな無線配車システムや業務用無線等の開発動向及び無線の利用管理に関する情報を会員に提供します。

5 組織の充実強化

厳しい経営状況とコロナ禍の長期化から、会員と利用無線局の減少が続く、組織運営が深刻な状況に置かれています。今後のタクシー事業の継続と経済的な無線活用について、その必要性やあり方を謳い、組織結集を呼びかけます。

また、会員の意見等を聞きながらタクシー事業における ICT 活用のビジョンの提言に努め、シンクタンク活動を強化し、組織強化を図ります。

〔4年度の会議配置予定〕

1. 第 62 回通常総会
6 月 14 日東京/都市センターホテル
2. 理事会
(1) 5 月 12～20 日（書面）
(2) 6 月 14 日 都市センターホテル
(3) 5 年 4 月 12 日自動車会館
3. 正副会長会
(1) 4 年 10 月 自動車会館
(2) 5 年 4 月 12 日自動車会館
4. 専門委員会等（検討）

令和4年1月～4月 各自動車無線協会および全自無連の動き

各協会からは、4月13日開催「令和4年4月期正副会長会」にも、多数の方にご出席を頂きました。ご協力ありがとうございました。

◇北海道ハイヤー無線協会

- R4. 1. 27 正副会長会議、理事会
2. 28 再免許申請終了（申請件数 5 件、基地局 4 件 4 局、陸上移動局 5 件 155 局）

◇東北自動車無線協会

- R4. 1. 27 正副会長・東北6県ハイタク協会専務理事合同会議を開催（仙台市）
1. 28 会報1月号を発行（仙台市）
2. 14 宮城県支部・宮城県警の合同通信訓練参加会員に宮城県警より感謝状授与
4. 15 令和4年6月再免許会員（5社）の免許状を当局より受領・発送
4. 18 令和3年度会計監査を実施（仙台市）
4. 27 宮城県支部令和4年度第1回理事会を開催（仙台市）
4. 28 令和4年度第1回理事会を開催（仙台市）

◇関東自動車無線協会

- R4. 1. 1 関自無協会報第93号を発行
1.21-2.13 新型コロナウイルス感染拡大に伴うまん延防止重点措置適用
2.14-3.6 新型コロナウイルス感染拡大に伴うまん延防止重点措置適用を延長
2. 18 関東総合通信局主催「関東サイバーセキュリティセミナー」WEBへ参加
3. 3 第2回通信技術委員会を书面審議により開催
3.7-21 新型コロナウイルス感染拡大に伴うまん延防止重点措置適用を再延長
3. 10 第2回総務委員会を书面審議により開催
3. 22 関東総合通信局主催「異業種連携セミナー2022WEB」へ参加
4. 6 2021年度業務・会計監査を実施
4. 8 正副会長支部長等会議を開催（自動車会館）
4. 8 2022年度第1回理事会を開催（自動車会館）
4. 25 第47回関自無協神奈川支部通常総会へ参加（横浜市西区）
4. 27 関自無協東京支部第48回通常総会へ参加（東京都千代田区）



◇信越自動車無線協会

- R4. 1. 1 会報誌第134号（新年号）発行
1. 6 信越総合通信局長、総務部長等へ新年挨拶
1. 17 佐渡市内を事業区域とするタクシー無線局開設計画指導
2. 7 松葉亮治元会長逝去 供花、弔電対応
3. 10 令和3年度3月期正副会長会議（書面開催）
3. 28 令和3年度第3回理事会（書面開催）
4. 4 総務省人事異動 新総務部長に挨拶
4. 5 旧スプリアス基準設備を使用する無線局免許解消
4. 14 令和3年分会計監査
4. 21 令和4年度第1回理事会



◇北陸自動車無線協会

- R4. 1. 4 北陸総合通信局へ新年挨拶
1. 11 金沢移動無線センター事業協同組合資産報告（金沢市）
2. 21 令和3年度第2回総務委員会書面審議
2. 28 令和4年分再免許電子申請支援完了（2会員FB2局ML27局）
3. 24 講演会「石川県における中小企業支援施策」（専務理事聴講）
3. 25 令和3年度第4回理事会（書面）
3. 28 金沢移動無線センター事業協同組合度第3回理事会（書面）

- 4. 6 公認会計士による財務調整
- 4. 7 会報誌「タクムほくりく」(令和4年度 No.1) 発行
- 4. 13 令和3年度会計監査
- 4. 14 金沢移動無線センター事業協同組合令和3年度会計監査
- 4. 26 令和4年度第1回理事会
- 4. 28 北陸情報通信協議会令和4年度定期総会(専務理事出席)



◇東海自動車無線協会

- R4. 1. 13 東海総合通信局長へ年始あいさつ
- 1. 19 名古屋無線集中基地施設工事立合い
- 2. 9 名古屋無線集中基地協会事務打合せ
- 2. 21 全自無連第3回調査検討会(Web会議)
- 2. 24 労働保険業務講習会
- 3.7-28 東海自無協第3回理事会(書面表決)
- 3. 2 会長打合せ(業務報告)
- 3. 8 東海情報通信協議会講演会(Web会議)
- 3. 15 全自無連第4回調査検討会(ウイंकあいち)
- 3. 22 東海情報通信懇談会電波の日情報通信月間推進委員会(Web会議)
- 3. 25 全自無連調査検討会打合せ(名城大学他)
- 3. 29 会長打合せ(総会開催関係)
- 3. 30 全自無連調査検討会打合せ(東海総合通信局)
- 4. 5 東海自無協第40回通常総会案内発送
- 4. 12 東海自無協会計監査
- 4. 13 愛知県自無協会計監査
- 4. 20 会長打合せ(理事会開催関係)
- 4. 21 東海自無協第1回正副会長会及び理事会(名鉄グランドホテル)
- 4.25-26 全自無連調査検討会打合せ(東海総合通信局等)
- 4. 28 会報「とうかい自無協だより」春号発送

◇近畿自動車無線協会

- R4. 1. 4 会報紙「近自無協だより No.243 新年号」発行
- 1. 16 大阪集中基地局電源回路定期点検夜間対応(大阪市内)
- 2. 18 近畿情報通信協議会 式典・表彰委員会(Webex)
- 3.2-11 3月期正副会長会(書面・3/11決議)
- 3. 11 和歌山運輸支局・通常総会会場打合せ(和歌山市)
- 3.14-30 3月期定例理事会(書面・3/30決議)
- 4. 4 近畿情報通信協議会 監査(監事)(事務所)
- 4. 5 近自無協 監査(事務所)
- 4. 11 近畿運輸局 総会関係打合せ(大阪市内)
- 4. 11 会報紙「近自無協だより No.244 春号」発行
- 4. 13 近畿情報通信協議会 総会(監事)(Webex)
- 4. 22 4月期定例理事会(大阪市内)

◇中国自動車無線協会

- R4. 1. 1 会報誌・新年号発行
- 1. 21 令和3年度 第3回理事会開催(書面)
- 3. 22 広島移動無線センターの正副会長会議の開催
- 4. 1 書面理事会の開催
- 4. 1 広島移動無線センター総会への来賓要請(国総通局、県警本部)
- 4. 4 税理士による会計処理の確認(3月分)
- 4. 14 クリーン協議会の会計監査
- 4. 18 広島移動無線センターの会計監査(令和3年度分)



- 4. 21 中国情報通信懇談会の会計監査（令和3年度分）
- 4. 25 広島移動無線センターの令和4年度総会



◇四国自動車無線協会

- R4. 1. 4 会報「四国タクシー無線130号」発行
- 2. 18 渡部会長打合せ（電話）
- 3. 1 2021年度第3回理事会（書面）
- 3. 31 決算
- 4. 21 監査

◇九州タクシー無線協会

- R4. 1. 1 会報「九州タクシー無線」No.172発行
- 1. 12 九州総合通信局長へ年始挨拶（電気通信法人会）
- 1. 19 支部事務局会議（書面・メール）
- 2. 2 佐賀支部および熊本支部との事務局業務引継
- 3. 3 IT業者によるシステム点検
- 3. 10 筑豊支部との事務局業務引継
- 3. 11 北九州支部との事務局業務引継
- 3. 18 会長との打合せ
- 3. 22 令和3年度第3回理事会
- 4. 1 北九州、筑豊、佐賀、熊本支部の事務局業務を本部へ移管
- 4. 11 通常総会の開催通知発送
- 4. 11 会報「九州タクシー無線」No.173発行
- 4. 14 監事による業務及び財産の監査
- 4. 15 法人市民税減免申請
- 4. 22 会長との打合せ
- 4. 26 令和4年度第1回理事会
- 4. 27 IT業者によるシステム点検

◆全国自動車無線連合会

- R4. 1. 1 情報誌「インフォメーションタクム」No.70発行
- 1. 20 調査研究 4年度要望打合せ（全自無連）
- 1. 26 タクシー問題懇談会新年会（Zoom）
- 2. 14 総務省ワイヤレス人材アンケートヒアリング（全自無連）
- 2. 17 中央コリドー委員会講演（ccc21）
- 2. 21 調査研究 第3回調査検討会（自動車会館）
- 3. 15 調査研究 第4回調査検討会（名古屋市・ウイंकあいち）
- 3. 16 調査研究 日進市実証試験計画打合せ（名古屋市）
- 3. 24 調査研究 最終報告書説明（大阪大学）
- 3. 25 調査研究 日進市実証試験計画打合せ、主管課事前審査説明等（名古屋市他）
- 3. 30 調査研究 令和3年度調査研究報告書納品（東海総合通信局）
- 3. 31 調査研究 打合せ（ccc21）
- 4. 5 調査研究 打合せ（ccc21）
- 4. 6 調査研究 東海総合通信局打合せ、社会実証試験実施環境調査（名古屋市他）
- 4. 11 ドコモ無線共済移行打合せ（全自無連）
- 4. 13 令和4年4月期正副会長会（自動車会館）
- 4.14-25 令和3年度第3回理事会（書面開催）
- 4. 19 第62回通常総会打合せ（都市センターホテル）
- 4.25-26 調査研究 打合せ、社会実証試験実施計画説明（名古屋市他）
- 4. 27 関自無協東京支部通常総会（グランドヒル市ヶ谷）
- その他 電波法人会「定例会」（Zoom）（1/18,3/8,4/12）



各無線協会の令和4年度通常総会開催予定

北海道 5月26日	東北 6月3日	関東 5月12日	信越 5月19日	北陸 6月9日
東海 6月2日	近畿 5月24日	中国 6月7日	四国 6月21日	九州 6月2日

訃報



元相談役 松葉 亮治 様
(信越協会)

2月3日にご逝去されました



元副会長 榎元 紀二郎 様
(関東協会)

3月27日にご逝去されました

長きにわたり全自無連理事、副会長等を務められました。
謹んで、ご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

新型コロナウイルスが、株種を変えながら全世界に猛威を進行させ、生活を脅かす中で、ロシアの軍事進攻は、世界の平和と経済を脅かしています。その猛威には、自らの防御策を持って戦うことしかないのだろうか。誰もが望まないこの攻撃に対処するため、日常の平和と生活を守る行動実践が必要です。タクシー事業についても、こうした経済進攻に立ち向かう実践が重要な時に立たされているように思えます。全自無連にとって令和4年度は、将来に向かっての活動の実践が一層求められています。

事務局 (岡崎・古山)



お詫び

本号は、諸般の都合から5月発行とさせていただきます。